

Agglomeration Economies and Urban Spatial Configuration

太田 充*

Mitsuru Ota

Abstract

都市を発生させ、その都市形状を決定させているのは、企業の立地によって発生する集積効果であると考えられる。この集積効果には2つの異なったタイプがあると考えられる。一つはその都市の人口や企業分布によって発生する間接効果、もう一つは立地点によって企業活動のコストが直接削減できることに由来する直接効果である。本研究では、これらの集積効果を別々の集積関数を用いてモデル化し、それぞれのタイプの集積効果が均衡都市形状や最適都市形状に与える影響を分析する。

JEL classification: R14, R30, L20

Keywords: agglomeration, configuration of the city, multicentric city

*筑波大学大学院システム情報工学研究科